

平成26年度 農と環境を活かしたまちづくりの推進

第2回黒川地域連携協議会 説明資料



目 次

黒川地区(全体図)

【農と環境を活かしたまちづくりの基本事項】

- 1 .農と環境を活かしたまちづくりの目的
- 3 .実施体制と役割分担
- 4 .今年度の実施スケジュール
- 5 .平成26～28年度のスケジュール

【平成26年度の各部会の取り組み】

- 1 .農産物等研究専門部会
- 2 .地域活性化検討専門部会
- 3 .里地里山保全利活用専門部会
- 4 .今年度のまとめと次年度に向けて(中間まとめ)

【収穫祭との連携】

- 1 .農と環境を活かしたまちづくりの活動成果発表
- 2 .アンケート調査の実施(市民ニーズ等の把握)

02	【農と環境を活かしたまちづくり黒川地区基本計画(案)】	
	0.農と環境を活かしたまちづくり黒川地区基本計画とは	30
	1.背景	31
04	2.対象地	32
05	3.基本目標と基本方向	33
06	4.実施方針	34
07	5.H28以降の本格活動の実施事項(案)	35
	6.<参考>平成26・27年度の取り組み	36
09	【(仮)平成27年度のデザイン祭(プレ)に向けて】	
12	1.背景	39
16	2.デザイン祭の基本的考え方	40
21	3.実施概要(案)	41
	4.基本的な進め方・実施体制等	42
	5.里地里山デザイン祭展開エリア	43
	6.実施する主な枠組み	44
	7.デザイン祭に向けたアイデア例	45
	8.実施期間(たたき台)	48
	9.開催に向けたスケジュール	49
	10.開催に向けた留意事項・調整事項	50

[illegible]

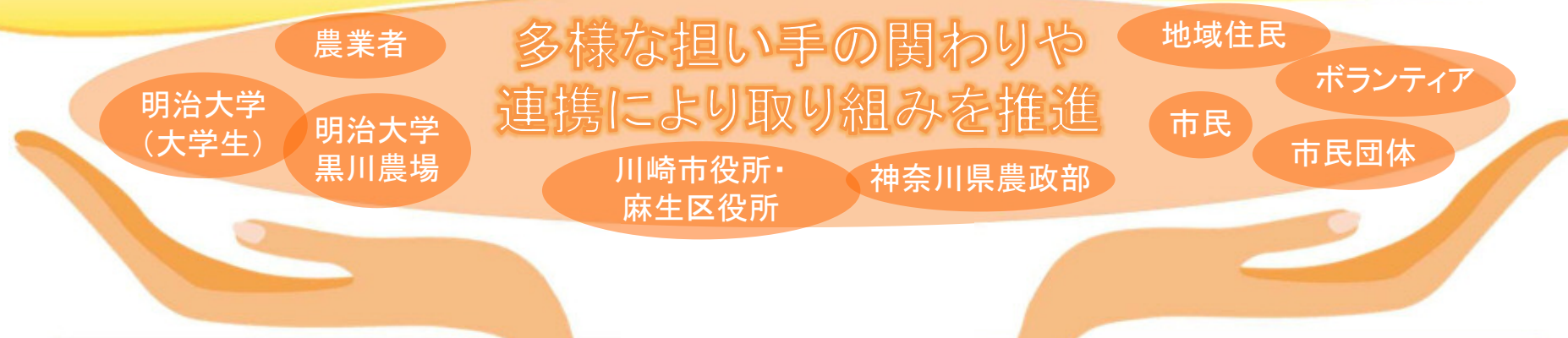
【農と環境を活かしたまちづくりの基本事項】



1 農と環境を活かしたまちづくりの目的



2 実施体制と役割分担



黒川地域連携協議会

- ◆黒川地域関係者の連携・相互協力を図り、農と環境を活かしたまちづくりを推進
- ◆部会間の調整、黒川地区の農と環境を活かしたまちづくりの方針・計画等の承認

【構成】明治大学黒川農場、JAセレサ川崎、JAセレサ川崎生産組合黒川支部、神奈川県農政部署、黒川町内会、経済局産業振興部、建設緑政局緑政部、麻生区役所、経済労働局農業振興センター（事務局）

農産物等研究専門部会

農畜産物、林産物及び加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。
・農産加工品の検討や開発、商品化に向けた検討推進等

地域活性化検討専門部会

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。
・地域イベントの企画・推進、地域資源の有効活用・PR

里地里山保全利活用専門部会

多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。
・里地里山の保全・再生・活用等の企画・実施

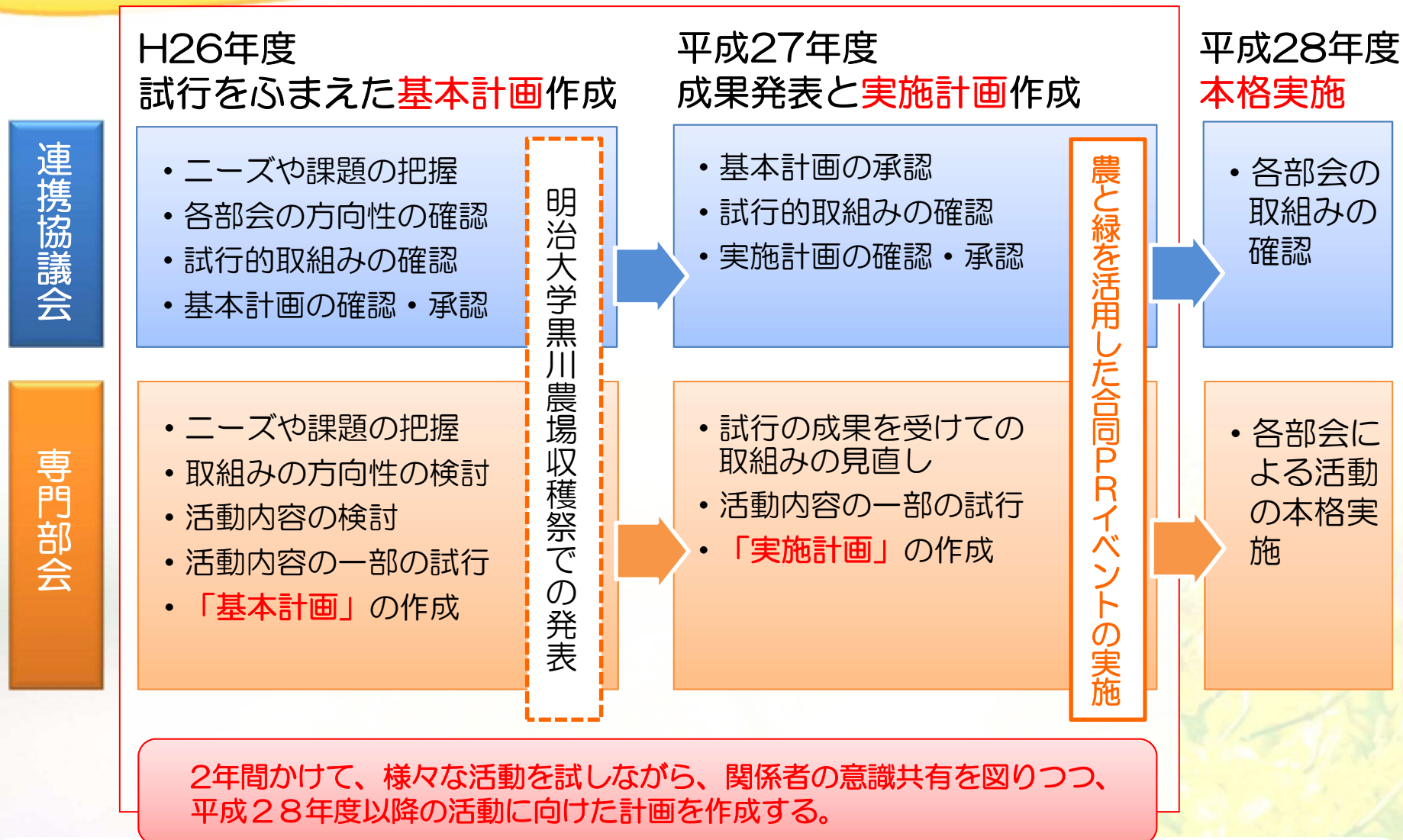
3

今年度のスケジュール(詳細)

時期	黒川連携協議会 ＜3部会共通事項＞	農産物等研究専門部会	地域活性化検討専門部会	里地里山利活用専門部会
5月		第1回 専門部会（26日） ・基本的事項の共有、取り組みの方向性及び今年度の試行作業内容等の検討	第1回 専門部会（30日） ・基本的事項の共有、取り組みの方向性及び今年度の試行作業内容等の検討	第1回 専門部会（26日） ・基本的事項の共有、取り組みの方向性及び今年度の試行作業内容等の検討
6月	・農業者等へのヒアリング調査 第1回 協議会(30日)	・郷土作物の発掘、伝統野菜の調査 ・新規作型や新規農産物の研究		
7月	・農業者等へのヒアリング調査	・栽培マニュアルの作成	・バスツアー ・食育イベント	
8月	・黒川情報マップの完成（協議会内部用）	・郷土作物（岩ちゃん豆等）の定植	・HPの立ち上げ	・イベント散策マップの完成
9月			第2回 専門部会（24日） ・これまでの取り組みの確認、収穫祭での実施事項の確認	
10月	第2回 協議会(20日)	第2回 専門部会（2日） ・これまでの取り組みの確認、収穫祭での実施事項の確認	・バスツアー	第2回 専門部会（6日） ・これまでの取り組みの確認、収穫祭での実施事項の確認 ・体験型散策イベントの確認
11月	明治大学収穫祭(8日) ・取り組み成果の発表 ・アンケートの実施	・農業者への提案会の実施 ・加工品の検討会の実施 等	・禅寺丸柿800周年イベント ・スイーツ試食会 等	・体験型散策イベント ・地域活動等の発表 等
12月		とりまとめ	とりまとめ	とりまとめ
3月	報告会の実施			

4

平成26～28年度のスケジュール





【平成26年度の各部会の取り組み】



1 農産物等研究専門部会

(1) 農産物研究専門部会の目的

将来、農畜産物、林産物及びその他の加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。

(2) 取組み方針と今年度の具体化施策

取組みの方向性	今年度の実施事項	概要
新規農産物や加工品の開発検討	1) 新規農産物や郷土作物の栽培	黒川らしい地域の農産物等の調査・研究と、新規作型や新規農作物の研究により黒川地域の活性化につなげる。
	2) 農産加工品の検討、開発、商品化検討等	農業者への提案に向け、大学生のアイデア参加も視野に入れつつ、多くの加工品を検討する。
農産物のイベントでの活用やPRの推進	3) マニュアル作成配布	郷土作物や新規農産物の普及に向け、作物の育て方等のマニュアルを作成し、栽培を希望する農家に種苗とともに配布する。
	4) 提案会の実施 -1種苗配布 -2試食会の実施	郷土作物や新規農産物の普及に向け、農業者へ提案会を行う。栽培を希望する農家に対し、試食会を実施したり、作物の育て方等のマニュアルとともに種苗を配布する。
農産物を活用した大学連携・地域コミュニティづくり	5) 大学と連携した商品開発 -1味噌づくり -2テンペづくり	明治大学と連携し、黒川の農作物を使った商品開発の検討を行う。商品化が有力な作物は、具体的な商品作りの為のプランを立てる。
	6) 収穫祭での黒川野菜のPR -1農作物の販売 -2黒川野菜を使った料理の配布	セレスモス、かわさき地産地消推進協議会と連携し、明治大学収穫祭にて黒川野菜の直売や、黒川野菜で豚汁を作り市民に配布を行い、黒川野菜のPRを行う。

1 農産物等研究専門部会

(3) 実施報告

1) 新規農産物や郷土作物の栽培

目的：黒川らしい地域の農産物等の調査・研究と、新規作型や新規農作物の研究により黒川地域の活性化につなげる。

◎各施設で実施した試験栽培品

農業振興センター	シカクマメ、岩ちゃんマメ、のらぼう菜
農業技術支援センター	シカクマメ、岩ちゃんマメ、のらぼう菜、ハッシュウマメ、湘南ポモロン、ミニニンジン
協力会畑・農家畑	シカクマメ、岩ちゃんマメ
明治大学黒川農場	シカクマメ、カイグワ、ヘビウリ



1 農産物等研究専門部会

(4) 今後の予定(H26下期)

2) 農産加工品の検討、開発、商品化検討等

概要：農業者への提案に向け、10～11月に黒川の女性農業者に黒川の農作物を使った加工品について意見を伺う。

3) マニュアル作成配布

概要：郷土作物や新規農産物の普及のため、作物の育て方等のマニュアルを作成し、栽培を希望する農家に種苗とともに配布する。「岩ちゃんマメ」、「ミニニンジン」のマニュアル作成、既存資料のリニューアル。

4) 提案会の実施

概要：地域の活性化に資する農産物等を、農業者へ提案するため、10～11月に、技術マニュアルをセットで提案し、農作物の種類を考えるきっかけづくりを行う。

5) 大学と連携した商品開発

概要：農業者への提案に向け、明治大学と連携した黒川の農作物を使った商品開発を行う。シカクマメを使った味噌、テンペ、ミニニンジンのピクルス、岩ちゃん豆を餡に使った大福等の開発。

6) 収穫祭での黒川野菜のPR

概要：収穫祭にて黒川で採れた野菜を使って豚汁を作り、市民に配布するとともに、黒川野菜の販売を行い、黒川野菜のPRを行う。



2

地域活性化検討専門部会

(1) 地域活性化専門部会の目的

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。

(2) 取組み方針と今年度の具体化施策

取組みの方向性	今年度の実施事項	概要
農と里山の体感	1) バスツアー	農と環境が体感できるバスツアーを開催。
	2) 食育イベント	農と環境を考える、食育に関する夏休み親子体験イベント。
	3) 農業体験	野菜の苗の植え付け体験、収穫体験、調理・食事体験等を実施公園における搾乳・乗馬体験等を実施。
地域資源の 発見・創造・育成	4) ウォーキングマップの 作成支援	ウォーキングマップ作成にあたり、先行して市有地に関する啓発看板について、里地里山利活用専門部会と協働でワークショップを行い掲示する。
	5) ホームページ作成	麻生区ホームページにコンテンツを追加し、活動内容等のアップを行う。
地域・大学の協働	6) 菜の花プロジェクト	古沢の畑で栽培した菜の花から搾油した菜種油を用いて、地域内資源循環をアピールするプロジェクト。
	7) スイーツレシピづくり	菜の花プロジェクトと明治大学生との連携した取組み。黒川野菜を使ったスイーツレシピづくり。
	8) (仮称)コミュニティ農園 の検討	菜の花プロジェクト×農家×市民×明治大学生により、これまでの振り返りと今後の取組みについてのワークショップを開催。
	9) 収穫祭連携イベント	麻生区に立地する大学との連携イベント。明治大学収穫祭にて、禅寺丸柿800周年関連イベント、コンサート、堀取り体験を開催。

2

地域活性化検討専門部会

(3)実施報告

1) バスツアー (7/24-8組19名)

概要：農と環境が体感できる場所をめぐり、区内にある地域資源を再発見するバスツアーを実施。王禅寺処理センター・明大黒川農場、柿生水力発電所、セシサモスを巡った。10/24・25に第2回を予定。

2) 食育イベント

①ダンボールコンポスト講習会 (7/22-20組46名、8/21-15組31名)

概要：家庭で資源循環について話し合い、行動してもらうことを目的とし、夏休み自由研究用のダンボールコンポストの入門講座を実施。意識付け強化としてアフターフォロー講座も実施。

②親子エコクッキング (7/24-13組30名)

概要：子どもと一緒に麻生区産の野菜を使用したピザを作りながら、ごみを少なくする工夫や生ごみの有効利用、麻生区の農業資源について学んでもらった。

③明治大学黒川農場と連携したグリーンツーリズム (8/4-8組20名)

概要：畑の見学を中心に、農産物の生産から販売までを学んでもらうことを目的とし、グリーンツーリズムの後、明治大学黒川農場を見学。農場で育てられている野菜の収穫体験を行った。



ダンボールコンポスト講習会



親子エコクッキング



グリーンツーリズム

2

地域活性化検討専門部会

(3)実施報告

3) 農業体験

①明治大学黒川農場での農業体験・食農体験イベントの試行実施(10/4)

概要：農業体験・食農体験により、区の農業資源について学んでもらうことを目的とし、先端農業技術の施設見学、野菜の苗の植えつけ体験、収穫体験、調理・食事体験などを行う。

②[参考]麻生区ふれあい公園「野菜の直売会等」(10/4)

概要：搾乳・動物ふれあい体験により、区の資源について学んでもらうことを目的とし、牛の搾乳体験、ポニーへの乗馬、JA直売会等を実施予定。

5) 農と環境の情報ホームページ作成

概要：農と環境のまちづくりの取り組みや今後のイベント等を掲載。



収穫体験



調理・食事体験



2 地域活性化検討専門部会

(3)実施報告

6) 菜の花プロジェクト

概要：古沢の農家の方の協力を得て、農家・市民、市民団体（かえるプロジェクト）・明治大学生の協働により、遊休地や水路を使って菜の花を育て、菜種油を搾油し、菜の花栽培を通じて農や地域内資源循環を考える取組みを実施。今後、黒川地区でも展開。



7) スイーツレシピづくり

概要：麻生区産菜種油のPRの一環として、大学と市民団体が連携し、地場野菜と菜種油を用いたスイーツレシピ作りを行った。



8) (仮称)地域コミュニティ農園の検討

概要：菜の花プロジェクトとスイーツレシピづくりの活動を振り返るとともに、農地や遊休地等を活用した地域活性化につなげていくため、今後の（仮称）地域コミュニティ農園のあり方に関し、農家・市民・市民団体・明治大学生によるワークショップを実施。

テーマ1：これまでの作業で感じたこと等の意見交換

これまでの活動の、良かった点、改善点、あったらいい事についての意見交換を行った。

テーマ2：今後の取組みに関する意見交換

今後の課題及び解決策についての意見交換を行った。



3

里地里山保全利活用専門部会

(1) 里地里山保全利活用専門部会の目的

多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里山の保全、再生、活用を目指す。

(2) 取組み方針と今年度の具体化施策

取組みの方向性	今年度の実施事項	概要
里地里山保全管理体験の検討	1) 取組みの前提として 情報一元化	◎黒川地域の様々な情報の抽出と地図上への一元化(見える化) ・地域の魅力、地域の活動(市民団体活動、援農ボランティア、観光農園、体験農園等)、主な生産物、問題点(ごみ問題等)、地域の催し等を抽出し、地図上に情報を集約化し、今後の取組みに向けて関係者の情報共有化を図る。
里地里山の認知促進	2) 里地里山の認知促進、 保全管理体験、大学連携の一体的取組み	◎「体験型散策イベント」の実施 ・地元農業者と大学生が連携し、子供を中心の親子に対し、黒川地区の里地里山の魅力を紹介するとともに、里山遊び体験を行いながら散策する「体験型散策イベント」を実施。 ・散策は、里山体験や地域の魅力発信のみでなく、マナーや環境の向上に関わる取組み(美化清掃イベント等)もいれるなど、地域の課題への対応も考慮する。
里地里山を活用した大学連携・地域コミュニティづくり	3) 大学と連携した黒川地区の里山活動のPR	・里山の保全管理に関する情報のパネル展示を明治大学収穫祭にて実施。

3

里地里山保全利活用専門部会

(3)実施報告

1) 取り組みの前提としての情報の一元化

①ワークショップの実施(6/2)

概要：第1回専門部会にて黒川の現状等で知っている情報や今後に向けた取り組みなどについて、意見交換を実施。



②地元町会、農業者へのヒアリング(6/13)

概要：地域の課題、地元町会や農業者との協力関係、市民による緑の保全活動の状況、今後の取り組み等についてヒアリングを実施。



③地元の方のガイドにより現地視察による情報の共有化(6/27)

概要：地元町会、農業者の案内により、黒川地区を歩きながら、黒川の見所、市民団体による緑地管理の状況、過去の不法投棄の状況、現在の農業などについて説明していただきながら、現地にて共有化を行った。さらに視察後、会議室にて、意見交換を実施。



3

里地里山保全利活用専門部会

■情報の一元化からみた主な意見

①

ワークショップ

里山環境
の保全

分類

主な意見

土地保全
生物環境

- ・川崎市の緑地の保全状況の把握と今後の方針の整理
- ・貴重種の保全やホタルの乱舞する環境づくりをしていきたい
- ・「自然観察」等の解説を立てる等の工夫があるとよい

美化清掃

- ・美化活動を行っているが手が行き届いていない場所の美化改善が必要
- ・マナーアップについて取り組む必要がある

管理

- ・地元住民や市民団体等による緑の維持管理の継続
- ・放置された畑や管理が行き届かない箇所の美化等の管理が必要
- ・保全活動に参加してくれる人の育成の仕組みが必要

②

地元町会、農業者
へのヒアリング

里山環境
の利活用

基本方向
散策

- ・残された黒川の緑の活用を推進
- ・地元の方と連携した景観やマナー向上に配慮した散策サインづくり
- ・ルートを絞った散策マップの作成及び紹介

人材

- ・地元町会や農業者の意見を聞きながら、地域との協働や参加を促す
- ・地元ガイドの登録などができるしくみをつくりたい
- ・貸農園の方のまちづくりへの参加や連携の検討も必要
- ・そば打ちや食品加工など多様な参加への誘導が必要

交流

- ・人が集まる工夫をし、農産物の売り上げ向上や地域交流につなげたい
- ・自然を介しての子供との交流の機会を設けたい
- ・青少年野外活動センターの子供たちと地域との連携を図りたい

イベント等
の提案

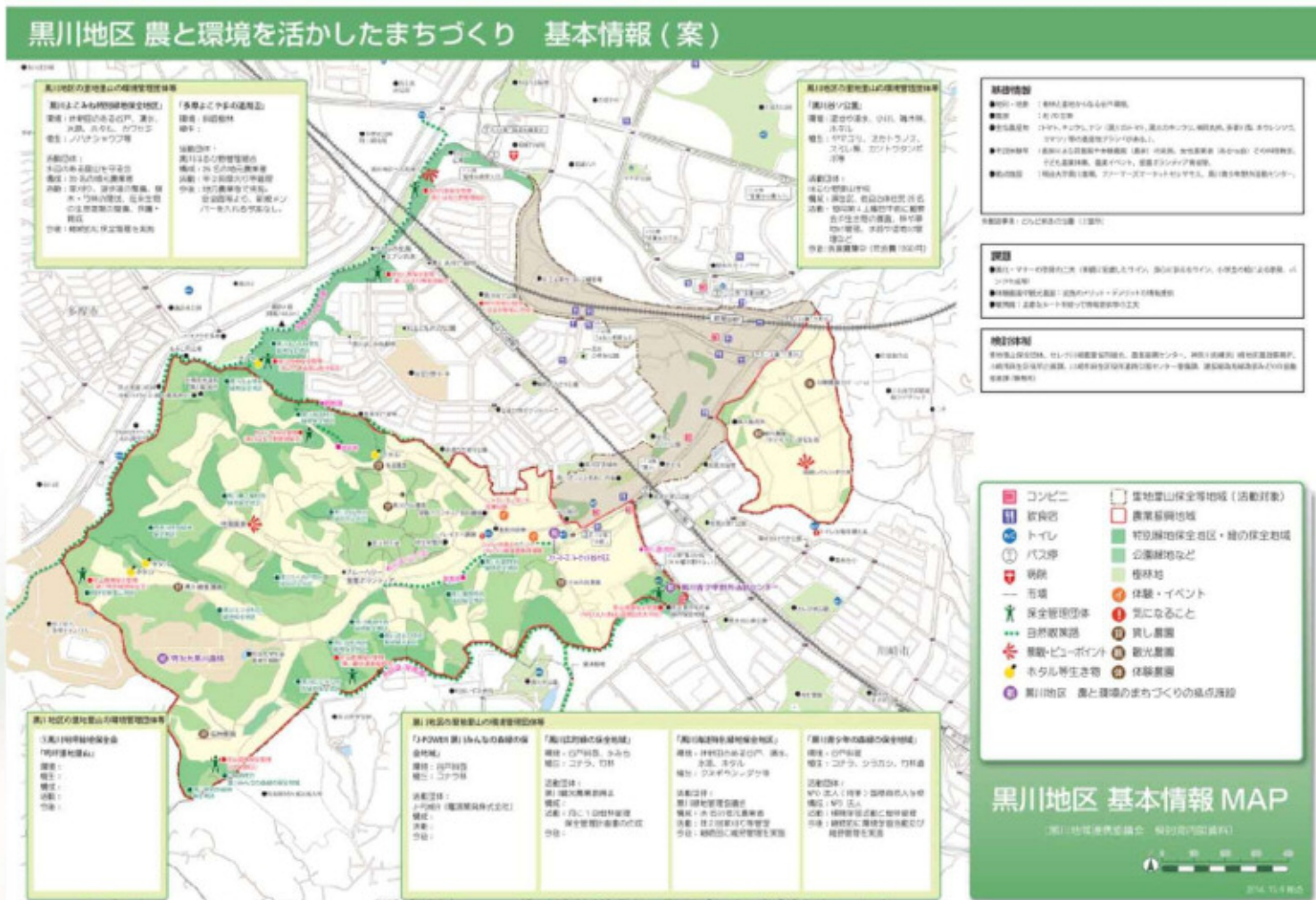
- ・地元農業者の収益につながる事、交流につながる事への配慮した緑とアートが一体となったイベントをやってみてはどうか
- ・大学生や芸術家の卵に作ってもらう緑のアートイベント
- ・地元の方のガイドによる散策イベント

③

現地視察による
情報の共有化

里地里山保全利活用専門部会

■黒川地区 情報マップ(内部限り)



3

里地里山保全利活用専門部会

(4) 今後の予定(H26下半期)

2) 里地里山の認知促進、保全管理体験、大学連携の一体的取り組み「体験型散策ツアー」

概要：地元農家と大学生が連携し、子供を中心とした親子に対し、黒川の自然の魅力、景観等の魅力を伝えるとともに、里山遊びを通じて里山の魅力を伝える体験型散策ツアーを実施。

3) 大学と連携した黒川地区の里山活動等のPR

概要：収穫祭にて、黒川地区の緑の保全管理活動団体の紹介など里地里山の保全活用の取り組みを紹介

- ①里地里山保全利活用専門部会の活動紹介
- ②緑の保全管理活動団体の紹介
- ③参加型の黒川情報マップづくり

4) 黒川散策マップ（素案）の作成

概要：今後、黒川地区を地元住民等の了解を得ながら、楽しく散策できるマップの素案を作成する。



里山散策ツアーのイメージ



保全管理の様子



保全管理の様子

4

今年度のまとめと次年度に向けて(中間まとめ)

	取り組みの方向性	今年度(H26)の取り組み	次年度に向けて	H27の試行的取り組み案
農産物等 研究専門 部会	①新規農産物や加工品の開発検討	1)新規農産物栽培や郷土農産物の栽培	拡充	品種を拡充し栽培
		2)農産加工品の検討	継続	加工品開発の試行
	②農産物のイベント活用やPRの推進	1)マニュアル作成	継続	マニュアルの作成・配布
		2)提案会の実施(種苗配布・試食会等)	継続	H26同様
	③大学連携・地域コミュニティづくり	1)大学と連携した商品開発	継続	H26同様
		2)収穫祭での黒川野菜のPR	継続	H26同様
地域活性化 検討専門 部会	①農と里山の体感	1)バスツアー	終了	JAイベント等との連携検討
		2)食農イベント(グリーンツーリズム等)	継続	H26同様
		3)農業体験	継続	H26同様
	②地域資源の発掘・創造・発信	4)ウォーキングマップの作成支援	継続	マップのPR
		5)農と環境の情報ホームページ作成	継続	コンテンツの充実
	③地域・大学・行政との協働	6)菜の花プロジェクト	拡充	展開エリアの拡充
		7)スイーツレシピづくり	拡充	多様なレシピづくり
		8)(仮称)コミュニティ農園の検討	継続	H26同様
		9)収穫祭連携イベント	拡充	拡充し実施
里地里山 保全利活 用専門部 会	①里地里山の認知促進	1)取り組みの前提として情報の一元化	継続	情報の充実
	②里地里山保全管理体験の推進	2)里地里山の認知促進、保全管理体験、大学連携の一体的取り組み	拡充	デザイン祭でのイベント実施
	③里地里山を活用した大学連携・地域コミュニティづくり	3)大学と連携した黒川地区の里山活動PR	継続	里山活動支援
3部会 共通	収穫祭との連携	活動の発表	拡充	デザイン祭の開催
		市民ニーズ把握のためのアンケート調査	継続	H26同様



【H26収穫祭との連携】

～11/8(土)開催～



1

農と環境を活かしたまちづくりの活動成果発表

(1) 3部会共通事項(基本計画等の紹介)

① パネル展示



② スライドショー (既存PPT)



1

農と環境を活かしたまちづくりの活動成果発表

(2) 各部会の活動紹介

パネル展示イメージ

農産物研究専門部会

農産物研究専門部会の目的

将来、農畜産物、林産物及びその他の加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。

農産物研究専門部会の取り組み

■新規農産物や郷土作物の栽培

目的：黒川らしい地域の農産物等の調査・研究と、新規作物や新規農作物の研究により黒川地域の活性化につなげる

農業振興センター	シカクマメ、若ちゃんマメ、のらぼう菜
農業振興技術支援センター	シカクマメ、若ちゃんマメ、のらぼう菜、ハッショウマメ、海苔ボモロン、ミニニンジン
富力会館・豊後町	シカクマメ、若ちゃんマメ
明治大学	シカクマメ、若ちゃんマメ、カイワテ、ヘビウリ



農業技術支援センター



農業技術支援センター



富力会館



明治大学

地域活性化専門部会

食農イベント

○○○○○○○○
○○○○○○○○
○○○○○○○○
○○○○○○



グリーンツーリズム

○○○○○○○○
○○○○○○○○
○○○○○○○○
○○○○○○



スイーツレシビづくり

○○○○○○○○
○○○○○○○○
○○○○○○○○
○○○○○○



里地里山保全利活用専門部会

第1回 専門部会でのワークショップ

日時：平成26年6月2日(月) 14時～16時
開催場所：明治大学黒川農場 会議室

ワークショップの方法

2班に分かれて、それぞれの立場の人が持つ黒川の情報を出し合い、地図に張っていく。



ワークショップの様子



ワークショップ結果の報告

現地視察による情報の共有化

日時：6月27日(金)
開催場所：黒川地区内

現地視察による情報の共有化の方法

黒川はひ野管理組合の野島氏の案内により、黒川地区を歩きながら、黒川での市民団体による緑地管理の状況や、以前問題となっていた不法投棄の状況の説明、現在の黒川の地区についてや農業について説明して頂いた。



市民団体管理組合の視察
(多摩よこやまの道
西の上原町近辺の
道)



多摩よこやまの道の
視察



市民団体管理組合の視察
(黒川郷土館特別緑地
地区内近辺の道)

1

農と環境を活かしたまちづくりの活動成果発表

■ 農産物研究専門部会の取り組み

1) 黒川で採れた農作物・加工品の販売

目的：黒川産の農作物や加工品等のPR

主体：セレスモス

場所：正面広場

内容：セレスモスやふるさとの生活技術指導士により農産物や農産加工品の販売を行う。



黒川で採れた農作物・加工品の販売
(イメージ)

2) 黒川野菜を使った料理の配布

目的：黒川の野菜を使った料理を食べてもらう事により、黒川野菜や加工品の良さを知ってもらい次回の購入につなげていく。

主体：かわさき地産地消推進協議会（ふるさとの生活技術指導士）

場所：正面広場

内容：ふるさとの生活技術指導士により地場産の野菜を使った豚汁を作り無料配布を行う。



郷土作物・新規作物の試食会
(昨年の様子)

1

農と環境を活かしたまちづくりの活動成果発表

■地域活性化検討専門部会の取り組み

1) 禅寺丸柿800周年関連イベント

- ・「かきまるくん」によるPRや禅寺丸柿の配布。

2) スイーツレシピの紹介及び試食会

- ・かえるプロジェクトと明治大学生の協働による「菜の花プロジェクト」「スイーツレシピづくり」活動の成果発表として、ドーナツスイーツの試食会を実施。

3) さつまいも掘り取り体験

- ・農家の方の協力を得て、黒川東地区にて掘り取り体験を実施。終了後収穫祭への参加を促す。

4) 昭和音大生によるコンサート

- ・昭和音楽大学の協力による、サックス四重奏コンサートを実施。



禅寺丸柿イベントイメージ



スイーツの試食会イメージ



スイーツの試食会イメージ



掘り取り体験イメージ



禅寺丸柿イベントイメージ



コンサートイメージ

1

農と環境を活かしたまちづくりの活動成果発表

■里地里山保全利活用専門部会の取り組み

1) 体験型散策イベント

概要：地元農家と大学生による黒川地区を歩きながら、自然観察や里山の素材を使った遊びを通し、黒川の里山環境の魅力や保全状況を伝える親子を対象としたツアー型イベント。

- ①黒川の自然観察（黒川谷ツ公園）
- ②黒川を眺めよう（よこやまの道脇、保全管理団体管理箇所）
- ③篠竹テッポウづくり（黒川海道特別緑地保全地区）
- ④まごの手&カップづくり（黒川広町緑の保全地域）

2) 黒川マップづくり

概要：収穫祭に訪れた方に黒川地区のガリバーマップへ、黒川地区で知っていること、気になること、やってみたいこと、こうなってほしいと思うことなど、皆さんの情報や思いを書き込んでいただき、黒川地区の情報充実や今後の活動に向けたニーズの把握を行う。

体験型散策イベントコース



黒川マップづくりイメージ

2

アンケート調査の実施(市民ニーズ等の把握)

概要：明治大学の収穫祭に関する意見とともに、農と環境を活かしたまちづくりの今後の活動に向け市民の皆様のニーズ等を把握するアンケート調査を実施。

主なアンケート内容

- 黒川地域への主な来訪目的
- 明治大学収穫祭について
- 農と環境を活かしたまちづくりの取組みについて
 - ・各専門部会の取り組みについて
 - ・今後の活動について
 - ・黒川里地里山デザイン祭について

第3頁

黒川地域の農と環境を活かしたまちづくりに関する調査

南生区役所では、「農と環境を活かしたまちづくり」の推進を図ることを考えております。そこで今後の検討に向けた市民の皆様へのニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施しております。

アンケートの回答については、今後、まちづくりの参考とさせていただきますので、ご協力のご協力をお願い申し上げます。

ご記入にあたってのお願い

■ご回答いただいた情報は、すべて無断に公開されますので、お断りください。

■回答方法は、お手持ちの用紙に回答を記入し、お断りください。必要に応じて記入してください。

■ご記入は、お断りください。

■この調査票は、お断りください。

川崎市 南生区役所



昨年度の様子